

令和4年度 学校園評価の取組について

加古川市立別府町幼稚園

一年間、本園教育にご理解ご協力を賜りありがとうございました。毎月の「園だより(わかば)」で「保育のねらい(月の目標)」をお知らせしてきました。その教育目標を達成するために、教職員一丸となって教育活動を推進してまいりました。

その達成状況やその達成に向けた取り組みの適切さについて評価することにより、園として組織的・継続的に改善を図ることが、学校園評価の目的です。

学校園評価には、本園教職員による評価「学校園自己評価」と、学校運営協議会の方々に行っていただく「学校園関係者評価」があります。

本年度は、実践目標の中から重点事項2つに絞り、学校園関係者評価を行っていただきました。この結果を保護者の皆様に公表することで、園の状況に関して共通理解を図りながら、次年度の園運営の改善と教育水準の向上に努めたいと考えています。

令和4年度 3学期保護者アンケート集計結果

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

評価項目		A	B	C	D
1	園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されている。	17	8	0	0
2	園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導が行われている。	14	10	1	0
3	園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために、必要な環境が整えられている。	10	12	2	0
4	園内環境(保育室・遊具や教材教具など)の安全管理は、適切に維持されている。	10	14	1	0
5	園児への安全指導(怪我・食物アレルギー・熱中症の防止など)は、適切である。	14	11	0	0
6	特に、新型コロナウイルス感染症対策は、適切である。	11	14	0	0
7	コロナ禍の下、教育活動の参観は、機会や持ち方も適切である。	15	10	0	0
8	コロナ禍の登園は、不安である。	4	4	10	7
9	教育活動を伝える情報(園だより・にこにこノートや担任による口頭連絡など)は十分である。	13	10	0	1
10	子育てに関する相談は行いやすく、情報提供も十分である。	11	11	1	1
11	教職員の対応は、適切で誠意をもった接し方である。	14	10	0	0
①	あいさつや着替えなど基本的な生活習慣が身についていますか。	11	12	1	1
②	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付きながら、一緒に遊んだり活動したりする楽しさを味わっていますか。	9	12	4	0
③	して良いことやいけないことに気付き、きまりを守って遊ぼうとしていますか。	9	11	5	0
④	身の周りの自然物に目を向け、興味をもって接していますか。	13	11	1	0
⑤	自分の気持ちを自分なりに言葉で表現していますか。	9	13	3	0
⑥	自分の気持ちを体の動きや絵・工作を通して自由に表現する楽しさを味わっていますか。	18	7	0	0

- 1 教育目標 仲間と共に生き生きと遊ぶ子の育成 ～思いやりの心を持ち、共に育ち合える仲間をめざして～
- 2 基本方針 園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されるよう教育を進める。
 ◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して指導を行う。
 ◇園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導・支援を行う。
 ◇園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために必要な環境を整え、園児の心身の発達の程度や季節などに適切に配慮して活動を展開する。
- 3 指導目標 めざす幼児像として次の5つを設定し、日々の指導に当たる。
 ①健康で明るく生き生き遊べる子 ②自分の思いを素直に表現できる子
 ③自分で考え行動できる子 ④ねばり強くやりぬく子 ⑤思いやりのある子

環境整備 安全指導	コロナ禍の下、感染防止対策と保育の充実のバランスは適正であったか。 ◇印:学校運営協議会委員
教職員 評価 B	感染防止対策を必要十分に取りながら、保育活動を進めてきた。安易に行事をなくすことなく工夫をして実施してきたことが、園児の今の成長につながっていると思う。次年度も感染防止対策をしっかり取りながら、保育を進めていきたい。 ◇保護者アンケート項目の6・7・8からも、園の感染防止対策が十分であるため、保護者が安心して子どもを通わせていることがうかがえる。 ◇園だよりや園よりの報告で、簡単にあきらめることなく、何とか実施できないものかと園と保護者が協力して保育を進めてきたことがよく分かる。
学校運営 協議会委員 評価 A	◇子どもが帰った後、先生方が舎内の消毒をされていることは保護者も知っています。ですから、不安はありません。 ◇コロナ禍のため来園できる機会が少なく具体的なことが分からず、コメントしづらいですが、一日でも早く安全安心な日常が戻ってくることを願っています。引き続き、感染防止対策を取りながら保育をすすめてください。 ◇日々の感染防止対策をしっかり行っているからこそ、感染者を増やすことなく、園児が幼稚園生活を過ごせているのだと思います。引き続き、対策をしっかり取り、保育を進めて頂きたいです。
人間関係	幼児に自立心や人と関わる力が育っているか。(幼児像の③と⑤) ◇印:学校運営協議会委員
教職員 評価 B	保護者アンケートでは、とてもそう思うが36%・そう思うが48%ある。基本的な生活習慣の定着とともに特に力を入れて保育に当たってきた項目であり、手ごたえを感じる。この方向性で次年度以降も注力していきたい。 ◇保護者アンケートで80%以上の高評価が出ているので、家庭では味わえない幼稚園での集団生活ならではの良いところが出ているのだろう。
学校運営 協議会委員 評価 A	◇基本的な生活習慣はもとより、自立心や人とかかわる力、そして気持ちを表現する力などは大事なことだと思う。幼稚園で芽生えたそのような力が、小中学校へと受け継がれ更に伸びていくことを願う。コロナ禍が収まればもっと小学校と連携を深めていただきたい。 ◇年長児はほんとうにしっかりとしてきた。年少児とたった1年の違いであるが、子どもの成長は大きなものがある。それ故に、幼児教育の大切さがあらためて分かる。

「学校園自己評価」と「学校園関係者評価」の2つの「学校園評価」で、成果と課題が明確になりました。また、学校運営協議会の方々からは、園運営についての提言もいただいております。
 来る令和5年度は、本年度の成果と課題を踏まえながら、教育目標を達成するために日々の教育活動を更に充実させていきたいと考えています。